

施策分析シート

No1

施策名	学校給食の充実	施策No	03-07	部課名	教育委員会事務局学務課		
				課長名	青山 敏郎	内線 3330	
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化					
	政策	心身ともに健やかな子どもの育成					
目的	児童生徒の健康の増進と栄養の改善を図るため、全小中学校で完全給食を実施する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)		
	①	管理栄養士配置率	53.33%	62.50%	62.50%	100%	非常勤管理栄養士／非常勤栄養士配置校
	②	ランチルーム整備校の割合	86.21%	89.66%	89.66%	100%	ランチルーム整備校／ランチルーム機能を有する学校を除く学校数
	③						
	④						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食の多様なニーズに対応するため、全校で調理業務の委託化を実施した。今後も安定的に給食を提供していく必要がある。 ○ 学校給食を活用し、介護予防のための高齢者会食サービス事業（おたっしゃランチ）や児童安全対策のためのふれあい給食など、多様な事業を実施しており、今後も推進していく必要がある。 ○ 食育基本法や食育推進基本計画の策定を受け、学校における食育の指導体制を充実させていく必要がある。 						
今後の方向性	自治体における給食業務の委託化は急速に進行しており、今後も調理能力の高い良好な業者を確保していく。また、食育を学校現場で担う人材として、総合的な観点から学校栄養士の役割について検討していく。						

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	食育は子どもの健康づくりの基礎であり、学校給食の充実のために全校に配置している学校栄養士を人的資源として、食育を一層充実していく必要があるため、優先度の高い施策である。

